

令和 7 年 度

医学部医学科学学校推薦型選抜

小 論 文

---

注 意 事 項

---

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を見てはいけません。
2. 落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所がある場合は、申し出ること。
3. 解答はすべて別紙解答用紙のそれぞれの解答欄に記入すること。
4. 解答用紙の指定された欄に、忘れずに氏名、本学の受験番号を記入すること。
5. 試験場内で配付された問題冊子は、試験終了後持ち帰ること。

問題は次のページから始まります。

次の文章を読んで問いに答えよ。

著作権の関係上，公開しません。

著作権の関係上、公開しません。

(アンデシュ・ハンセン著、久山葉子訳「スマホ脳」、新潮新書、P150-155、抜粋、一部改変)

問1. 他人の考えや気持ちを理解するために筆者はどのような情報が必要であると考えているか。80文字以内で述べよ。

問2. デジタル社会の中で他人に共感することに関し筆者はどのような問題提起をしているか。100文字以内で述べよ。

問3. 筆者は「デジタルライフが共感力を鈍らせ、心の理論能力を弱めていると100%断言することはできない。」と結んでいるが、80年代と比べ大学生の共感力は低下していると述べられている。今後医師を目指すうえでこれがどのような問題となりうるのか、「共感的配慮」と「対人関係における感受性」をキーワードに500字以内で述べよ。